高岡高等学校 安全教育全体計画

安全上の課題

- ○南海トラフ地震発生時 には、最大震度7の想定 があり、軟弱地盤の影響 で液状化も起こる。波介 川、仁淀川の氾濫等で洪 水 (0.5m~3 m)、地域 の避難所に指定。
- ○津波浸水区域に住む生 徒・教員がいる。
- ○ほとんどの生徒がスマートフォンを使用している。特に、SNSの依存的な使用に課題がある。
- ○原動機付自転車の免許 取得を条件付きで許可 しているため、交通安全 指導の必要性がある。

学校教育目標

〇キャリア教育「轍」の充実

〇基本的生活習慣の確立

〇多様な生徒への対応

〇生徒の自主活動の活性化

〇基礎学力の向上・定着

〇人権教育の推進・充実

安全教育の目標

- ①自らの命を守ることができる生徒を育成する
- ②何が危険かを理解して、危険を察知した際に的確な行動が<u>できる</u>生 徒を育成する
- ③安心した生活を過ごすことができる環境づくりを推進<u>できる</u>生徒を 育成する

安全管理

- ○AED 動作点検 ○学校設備安全占検
- ○火災報知器点検
- ○エレベーターの点検
- ○プール水質検査 ○劇物等保管点検
- ○劇物等保管点 ○備蓄品確認

安全に関する組織活動

- ○救急救命・AED 講習会
- ○熱中症対策研修
- ○アレルギー対処研修
- ○土佐警察署と合同で交通 安全、危機管理周知
- ○防災避難訓練(年間3回)
- ○シェイクアウト訓練
- ○学校運営協議会
- ○いじめ防止等対策検討委 員会

| 学年別重点目標 | | | | |
|-------------------------|-------------------------|------------------------|--|--|
| 【1年生】 | 【2年生】 | 【3年生】 | | |
| 【生活安全】 | 【生活安全】 | 【生活安全】 | | |
| ○安全な学校生活を送るために、自分を律し、規則 | ○全員が安心して過ごせる環境について理解し、ル | ○社会の一員として、自他の安全を守るために行 | | |
| を守って学校生活を送ることができる。 | ール等を守って学校生活を送ることができる。 | 動することができる。 | | |
| 【交通安全】 | 【交通安全】 | 【交通安全】 | | |
| ○通学路における危険を予測し、安全に登校するこ | ○自分を律し、交通ルールを遵守する態度を身に付 | ○社会の一員として自他の安全に責任を持ち、交 | | |
| とができる。 | ける。 | 通ルールを遵守することができる。 | | |
| 【災害安全】 | 【災害安全】 | 【災害安全】 | | |
| ○自分たちの地域と災害について知り、災害を自分 | ○災害時に高校生が担う役割を自覚し、自分安全と | ○常に災害に対する危機感を持ち、自他の安全の | | |
| 自身のこととして真剣に考える態度を身に付ける | 地域の安全のために考え、行動することができる。 | ために備え、行動することができる。 | | |

| 関連する主な領域及びその指導内容 | | | | |
|------------------|---|---|---|--|
| | 【1年生】 | 【2年生】 | 【3年生】 | |
| 教科 | ○公共 ・青年期と社会参画 ・私たちと法 ・社会資本の老朽化 ・公害 ・行政の役割 ・地方自治の役割 ○化学基礎 ・実験の心得と薬品の取り扱い方 「情報 ・緊急時の情報収集と活用について ○保健 ・現代社会と健康について (救命救急法・精神の健康・交通安全) ○体育 ・熱中症対策やケガ防止、体調管理の徹底 ・体育施設・用具の安全点検 ・水泳の安全 ○家庭基礎 ・健康的な住まい、安全な住まい (衛生・災害への備え・防犯について) | ○地学基礎 ・プレートテクトニクス ・地震と津波のメカニズム ・気象災害 ・ハザードマップ ○物理基礎 ・地震波 ○工芸 ・刃物や工具の取扱いについて ○保健 ・生涯を通じた健康 ○体育 ・熱中症対策やケガ防止、体調管理の徹底 ・体育施設・用具の安全点検 ・水泳の安全 ○ファッション造形基礎 ・非常持ち出し袋の制作 ○フードデザイン ・食事の安全 ・調理実習における安全指導 | ○日本史 ・歴史の中の自然災害 ○地理 A ・世界の地形・気候と自然災害 ・地球の内部・大気・海洋に関する正しい理解 と自然災害 ○地学 ・プレートテクトニクス ・地震と津波のメカニズム ・クロスロード ・気象災害・ハザードマップ ○クラフトデザイン ・刃物や工具の取扱いについて ○子どもの発達と保育 ・青年 ・熱中症対策やケガ防止、体調管理の徹底 ・体育施設・用具の安全点検・水泳の安全 ○生活と福祉 ・健康と生活 | |
| 野・探究の | ○キャリア教育「轍」 ・すずかけ講座(総合的な探究の時間)を通 じて、土佐市についての理解を深める。 ・防災を含めた土佐市の課題を知り、解決 策を提案できる。 | ○キャリア教育「轍」(課題探究学習) ・川や水路、過去の浸水被害など、水をテーマとした地域の歴史探究などを通じて地域を知ると共に地域に何ができるのか考える。 | | |
| 特別活動 | ホ ○防災 LH ・防災非難訓練(年3回) ・非行防止教室 ◇防災避難訓練 ◇シェイクアウト訓練 ○起震車体験 事 ○あいさつ運動 | 3 - · · · · · | ○防災 LH・防災非難訓練(年3回)・非行防止教室>・出前非行防止教室5・校生防災サミット4会 | |

安全教育の成果を測る指標

- ○ルールやマナーを守り、自他ともに安全で安心して過ごせる環境を目指して行動する態度が身に付いているか。(言動・振り返りシート)
- ○災害を自分のこととしてとらえて真剣に向き合い、自分や地域の人たちのために行動することができるか。(言動・振り返りシート)
- ○日常生活に潜む危険について理解し、自らの取るべき行動を選択する力が付いているか。(言動・振り返りシート)